

ごみ資源化施設建設NEWS

みんなで実現！ごみマイナス40% **-40%**

Vol.2

町田市のごみ処理の歴史

町田市のごみ処理は、1956年に金森焼却場を開設したことがはじまりです。1969年には下小山田町に移転、その後、大型団地の建設等による急激な人口増加に対応するため、1982年に「町田リサイクル文化センター」を新設しました。

町田リサイクル文化センターは、現在、運転開始から約30年が経過し、通常の維持管理費のほかに年間約10億円の修繕費がかかっており、将来にわたって安定的なごみ処理を行っていくために、新たなごみの資源化施設の整備が喫緊の課題となっています。

町田リサイクル文化センター



新たなごみの資源化施設をつくります

循環型の社会を実現し良好な生活環境を次世代に引き継いでいくため、そして、将来にわたって安定的なごみ処理を行っていくために、町田市では、ごみの徹底した資源化とさらなる**環境負荷の低減**を目指します。

こんなに変わる、ごみの資源化！ —「町田市一般廃棄物資源化基本計画」では—

